

学校運営協議会の報告書 (学校関係者評価)

学校名	北秋田市立清鷹小学校	学校運営協議会 開催日	第1回 5月26日(金) 第2回 10月20日(金) 第3回 2月1日(木)
校長名	大高 聖子		
学校教育目標	清らかで たくましく ～よく遊び よく学び みんなで輝け～		
項目	1 活性化のための取組		
学校の取組概要	<p><b>愛</b> ふるさと協育 清鷹はひとつ 地域と共に～北秋田かがやきプロジェクトS</p> <p>※ふるさと協育を土台とし、友達、教師、家庭、地域と関わることによって、互いのよさを認め合い、何事にも粘り強く取り組み、協力し合って学校を創り上げていこうとする子どもを育む</p> <p>(1) 清鷹小が育む五つの資質(主体性、協調性、創造性、自己肯定感、たくましさ)を重視した教育活動の展開</p> <p>①主体的に学習に向かう子ども (ねらいとゴールを明確にした授業づくり、学び合いを支える教師の支援、タブレットの活用)</p> <p>②思いやりの心をもち、共に高まろうとする子ども (異年齢活動、あいさつの活性化)</p> <p>③心身ともに健康で、粘り強くがんばる子ども (がんばりの賞賛、業間運動、食育)</p> <p>前期 ↓</p> <p>*「学校が楽しい」 (90.4%) (前期児童アンケート)</p> <p>*「お父さんは元気に学校に通っている」 (96.7%) (前期保護者アンケート)</p> <p>*「自分の考えを積極的に発表している」 (77.6%) (前期児童アンケート)</p> <p>*「進んであいさつしている」 (84.8%) (前期児童アンケート)</p> <p>後期 ↓</p> <p>*「学校が楽しい」 (91.8%) (後期児童アンケート)</p> <p>*「お父さんは元気に学校に通っている」 (94.2%) (後期保護者アンケート)</p> <p>*「自分の考えを積極的に発表している」 (77.2%) (後期児童アンケート)</p> <p>*「進んであいさつしている」 (85.3%) (後期児童アンケート)</p> <p>つなぐ 「1年間の集大成」 *次のステップに向けての準備をしっかりと</p> <p>(2) 地域と共に歩む学校を目指して</p> <p>①地域の特色を生かした学校経営(長岐邸、元堰、高速道路、空港、内陸線、たかのす校等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (1年) 縄文の森探険 (森林学習)</li> <li>・ (2年) 縄文の森探険 (森林学習)、空港見学、くまぐま園見学 (内陸線活用)</li> <li>・ (3年) 保育園との交流、地域探険、地域の名人</li> <li>・ (4年) 比内支援たかのす校との交流会、長岐邸の見学、認知症サポート講座</li> <li>・ (5年) 「いっしょにもり上げ隊」 田んぼアート・伊勢堂岱遺跡・縄文まつりへの協力、大湯小との世界遺産交流</li> <li>・ (6年) 伝統芸能の継承 (駒・奴)</li> <li>・ (全校) 花壇、畑、読み聞かせ (ごんごろう) など</li> </ul> <p>②関係機関や地域との協働・連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 陽清学園との緊密な連携 (年4回の情報交換会の継続)</li> <li>・ 比内支援たかのす校との交流会(たなばた集会S61～)</li> <li>・ 地域人材の活用 ・ 民生、児童委員との連携</li> <li>・ スクールガード ・ 清鷹ボランティア ・ 学校応援サポーター</li> <li>・ 沢口公民館、七日市公民館、自治会館、自治会長会との連携</li> <li>・ 保育園、こども園、鷹巣中学校との学校間・校種間の連携</li> </ul> <p>*「ふるさと (秋田県、北秋田市) が好きだ」 (93.6%→94.3%) (児童)</p> <p>*「ふるさとのよさを子どもたちに伝えている」 (98.4%→100%) (保護者)</p> <p>*「地域の教育力を生かし、地域と連携して教育活動を推進している」 (3.8→3.88) (教職員)</p>	自己評価 中間 年末	
	委員の意見等	<p>いろいろなことに挑戦している。清鷹小学校になって続けていることが、子どもたちの力となってきたと感じている。新聞やテレビなどで、清鷹小学校の活動の様子が紹介されているのを見て、子どもたちの活動が地域の元気を育むことにつながっているの、いいなと思う。保育園交流での子どもたちの姿を見ると、関わりがとてよく、異年齢活動の成果がとてよく見える。今後も続けてほしい。アンケート結果を見ると、「元気に学校に通っている」が若干下がっている。みんなが、元気に登校できるようになるとよい。</p>	関係者評価
今後の施策	<p>異学年活動や地域との係わりを通して、多様な方々と関わったり、つながったりする中で、清鷹小が育む五つの資質を高めていきたい。その際、活動だけで終わらないよう、活動後の振り返り(おわりの会)を縦割り班や活動班で行うなど工夫していきたい。</p>		

項目		2 知 育	
学校の取組概要	<b>【学びイキキ：主体的に学習に向かう子ども】</b> (1) 「算数科」を研究教科とした校内研修の推進 (研究主題)「子どもの『分かる』に寄り添う教育をめざして」 ～みんなで見つける みんなでひろげる みんなでつくる～ (2) 学習習慣の定着に向けた指導 ・「清鷹の学び」「学習の約束」「清鷹の振り返り」の共通実践 ・学習強調月間の設定 * 「先生は勉強を分かりやすく教えてくれる」(95.2→93.5%) (児童) * 「学校は子どもたちの学力向上のため努力している」(『そう思う』57.9→53.3%) (保護者) * 「基礎的な内容の定着と学習習慣の施策が適切に実践されている」(3.33→3.31) (教職員) (3) 自ら学ぶ意欲と態度の育成 ・効果的な家庭学習(宿題・自主学習)の指導 ・ノート展の実施 * 「宿題や家庭学習に毎日取り組んでいる」(93.6→97.5%) (児童) * 「家庭学習の習慣が身に付き、進んで学習に取り組んでいる」(88.5→85%) (保護者) (4) 個に応じ、個の力を伸ばすための支援 ・児童の考えを生かす学び合い ・効果的な指導(算数TT)と個に応じた支援の工夫 ・ICT(タブレット)の活用 * 「研究主題に基づいた組織的な校内研修が推進されている」(3.60→3.63) (教職員) * 「授業改善が進められている」(3.40→3.44) (教職員) * 「ICTを活用した教育活動を推進している」(3.60→3.88) (教職員) (5) 朝学習の活用 【水曜日…算数ドリル学習(7年部の協力)、木曜日…読書】 * 「算数科を中心に少人数指導や朝学習の実践により基礎・基本の定着が図られている」(3.40→3.50) (教職員)	自己評価	
		中間	年末
		4	4
		3	3
		2	2
委員の意見等	授業の様子を参観した。発言の仕方、友達の発表を聞く姿勢などとても立派で落ち着いている。一年の成長が感じられた。子ども同士で授業を見合うことはとてもよい取り組みだと思う。それにプラスして、校外の先進校等の授業を見る機会もあるともっと向上していくと思う。		関係者評価
			4
			3
			2
			1
今後の施策	・基礎基本の定着のために、朝ドリルの継続や1C2Tを効果的に活用した授業実践を推進していきたい。 ・授業中の発表や発言に抵抗感を感じている子どもがいるので、分からないとか悩んでいる子どもを生かしながら、みんなでつくり上げる楽しさを味わわせ、「分かる・できる」授業を目指したい。そのための研修の機会を設定していく必要がある。		
項目		3 徳 育	
学校の取組概要	<b>【心ワクワク：思いやりの心もち、共に高まろうとする子ども】</b> (1) 規範意識をもち、楽しい学校生活を送ろうとする児童の育成 ①「清鷹っ子の学校生活のきまり」の共通理解、共通実践 (2) 児童理解に基づく指導や支援の充実 ① 学校適応調査「アセス」の実施や「Ho(ほめる) K(聞く) U(促す)」の共通実践 (3) 人権教育の推進(多様性を育む) ① 他校との交流活動(4年以上:比内支援たかのす校、1年・3年:保育園) ② 認知症サポート講座、幼保小連携協議会 (4) 自己有用感を高める取組※振り返りの充実(がんばりを認める、ほめる) ① 学級目標の設定、異学年交流(清鷹ウォークラリー、スノーフェスティバル) ② 当番・係活動の工夫、道徳コーナーの設置 ③ あいさつ(児童総会、あいさつ運動、あいさつシール、校内あいさつロードなど) (5) 不登校、いじめ等学校不適応への対応 ① 児童支援担当を中心とした相談活動により、早期発見・早期対応に努める ② 「いじめアンケート」や学校適応調査(アセス)の活用 * 「学級の友だちとなかよく、楽しく生活している」(92.8%→96.8%) (児童) * 「子どもたちのよさを認めながら、自己有用感を高める活動をしている」(98.3%→100%) (保護者) * 「保護者からの連絡や相談に適切に対応している」(98.3%→100%) (保護者) * 「「Hoku」を基本姿勢に共感的な児童理解が進められている」(3.33→3.38) (教職員) * 「清掃や委員会、当番の仕事をがんばっている」(93.6%→94.3%) (児童)	自己評価	
		中間	年末
		4	4
		3	3
		2	2
委員の意見等	徳育の評価規準は難しいと思うが、人権教育や道徳、活動後の振り返りを大切に、子どもたちの心を育ててほしい。それでも、清鷹小学校の子どもたちは、中学校でも頑張っている。よい子に育っているので、今後も自信をもって指導してほしい。関連項目の保護者アンケートは、100%になっている。		関係者評価
			4
			3
			2
			1
今後の施策	・異学年交流の機会を増やすことで、人間関係の幅を広げたり、人とのよりよい関わり方を学んだり、みんなで楽しむことの心地よさを味わわせたい。活動後は、自己有用感が高まるような振り返り活動を工夫していく。 ・いじめや不登校に関しては、次年度も、学級担任だけでなく、職員がチームとなって対応していく。外部機関とも積極的に連携していく。		

項目 4 体育・健康教育		自己評価	
		中間	年末
学校の取組概要	<b>【体イキキ：心身ともに健康で、粘り強くがんばる子ども】</b> (1) 【体育指導】 体力作りと運動意欲の高揚 ① 季節や実態に合わせた業間活動や外遊びメニューの工夫 ② 体育の時間の準備運動の充実  (2) 【保健指導】 自分の健康状態への関心と必要な知識や態度を身に付けさせる ① むし歯予防や肥満傾向の児童への指導並びに「食」に関する指導 ② 学校保健委員会やPTA研修会の実施  (3) 【清掃指導】 全校縦割り班清掃により、協力し合って清掃に取り組む習慣作り  (4) 【給食指導】 望ましい食習慣の形成と感謝の心の育成 ① 栄養教諭による「食」の授業の実施 ② バランスのとれた食事の指導 ③ 1年生保護者給食試食会、食育に関するPTA研修会  (5) スポ少活動の奨励、協力  ※「早寝早起き、朝ご飯をがんばっている」(90.4%→90.2%) (児童) ※「苦手なものでも食べるようにがんばっている」(89.6%→90.3%) (児童) ※「早寝早起き、朝ご飯を自分から心がけて生活している」(85.1%→84.1%) (保護者) ※「児童の体力向上に向けた取組が行われている」(3.13→3.31) (教職員)	4 . 3 . 2 . 1	4 . 3 . 2 . 1
	委員の意見等	児童アンケートの「早寝早起き、朝ご飯や」「苦手なものでも食べるようにがんばっている」の「思わない・そう思わない」と答えている子どもが若干増えている。食育については、学校と家庭との連携が必要であるので、PTAなどの機会に話題にしながら、根気強く継続して取り組んでほしい。体育の授業の中での体力向上にも取り組んでほしい。	4 3 2 1
今後の施策	・次年度から、低学年のスキー授業を行うよう進めていきたい。保育園で行っているので、スキーを準備するという保護者の負担感は少ないと思う。また、地域へ呼びかけたりするなどして、貸し出し用のスキーも準備したい。 ・食育に関しては、給食だよりやレシピの紹介、給食試食会、PTA研修会などを通して、学校と家庭が連携して取り組んでいきたい。		